

低炭素社会構築プロジェクト	
平成30年度における関連する社会の出来事	地球温暖化による農作物への打撃や、災害や異常気象による被害などを抑えることを目的とした「気候変動適応法」が6月6日、参院本会議で可決、成立した。同法は、温暖化の影響は既に国内で表れているとの前提で国のほか、地方自治体や事業者が担う役割を明確化した。国には「気候変動適応計画」の策定を求めたほか、自治体にも「努力義務」として地域の状況に応じた「地域気候変動適応計画」づくりを求めている。

■低炭素で快適なまちをつくります！		
環境基本計画で定めた「市の具体的な取組」	平成30年度に実施したこと	環境課ヒアリング・評価
1-1 ●公共施設の更新等においては、省エネルギー、再生可能エネルギー機器等の導入に努めるとともに、既存の施設においても緑のカーテンを設置するなど、省エネルギーかつ利用者にとって快適な公共施設づくりを行います。	(財政課) 生涯学習センターこもれびの森に再生可能エネルギー機器を新規設置した。	生涯学習センターこもれびの森に新たに再生可能エネルギー機器が設置され、公共施設での設置基数は全部で5か所になった。(設置施設:こもれびの森、はびすしらおか、千駄野保育所、西小学校、南小学校)
	(環境課) 緑のカーテンを市役所に設置。また、緑のカーテン設置希望のあった市内の事業所、保育所及び児童クラブにゴーヤの苗を配布した。	市役所に設置したほか、市内在住の希望者100世帯にゴーヤの苗を配布した。また、市民だけでなく、設置希望のあった市内の事業所5か所、公立保育所3か所、民間保育園2か所、児童クラブ2か所に配布した。
1-2 ●白岡市創エネ・省エネ促進事業による補助などにより、市内住宅における省エネルギー・再生可能エネルギー機器の導入を促進します。	(環境課) 省エネ機器等を設置する者に対し、費用の一部を補助した。 ・太陽光発電システム 28件 ・LED照明器具 14件 ・太陽熱利用システム 1件 ・定置用リチウムイオン蓄電池 18件 ・雨水貯留施設 1件	補助申請は前年比でそれぞれ、太陽光発電システムは3件、定置用リチウムイオン蓄電池5件の増であった。 定置用リチウムイオン蓄電池に関しては新築住宅も対象としているが、太陽光発電システムを既に設置している世帯からの申請と併せて増となっている。太陽光発電システムと定置用リチウムイオン蓄電池を併せて設置する方もおり、売電目的の外に自家消費を目的とする機運がある。
環境基本計画で定めた「市民・事業者」に求められる行動	平成30年度における状況	環境課ヒアリング・評価
1-3 【市民に求められる行動】 ●緑のカーテンを自宅に設置するなど、環境にやさしい取組をしましょう。 ●市民同士の交流を深め、互いに協力し合い、ごみの抑制や3Rや緑化に努めましょう。 ●自宅等に省エネルギー・再生可能エネルギー機器を導入しましょう。 【事業者に求められる行動】 ●事業所や事業活動において省エネルギー・再生可能エネルギー設備の導入を図りましょう。 ●製品の製造に当たっては、製造、使用から廃棄までの環境負荷の低減を図る、環境配慮設計を心がけましょう。	市が配布したゴーヤの苗により、緑のカーテンを設置する家庭が100世帯あった。また、緑のカーテン設置希望のあった市内の事業所、保育所及び児童クラブにゴーヤの苗を配布した。 創エネ・省エネ機器の設置に対する補助金交付申請が62件あった。	緑のカーテンの普及、省エネルギー・再生可能エネルギー機器の導入については、環境課から市民に対して制度利用の周知広報を行い、成果は出ている。継続して行う。 また、緑のカーテンに関しては、事業所へ配布することはできたが、市内事業所と連携した取組の実施に課題が残る。

■低炭素社会を構築するために各主体が行動します！		
環境基本計画で定めた「市の具体的な取組」	平成30年度に実施したこと	環境課ヒアリング・評価
1-4 ●市の事務における物品の購入、使用、廃棄に当たっては、環境負荷の低減のために、「グリーン購入法」に基づき、環境にやさしい物品等の購入を図るとともに、リサイクルの推進に努めます。	(会計課) 事務用品の購入の際には、エコマーク・グリーンマーク付の商品を率先して購入した。	引き続き取り組む。 エコマーク・グリーンマーク付の商品購入については、予算の範囲内において対応する。
	(財政課) 庁舎において使用するコピー用紙については、環境配慮型製品の指標である総合評価値80ポイント以上を指定している。	環境配慮型製品として総合評価値の高いコピー用紙を使っている。今後も継続していく。
1-5 ●公共施設における空調や照明の適正管理や、3R、節水等を推進します。	(財政課) 電灯や冷暖房機等は、こまめに消すなど経費の節約に努めている。特に、昼休みや勤務時間外は、必要最低限の電灯使用としている。	引き続き取り組む。
1-6 ●国、県、市等で行う低炭素社会構築のための行動促進の呼びかけ(キャンペーン)を、市民・事業者に周知していきます。	(環境課) 環境省で推進する「ライトダウンキャンペーン」のポスターを掲示して啓発を図った、また市の取り組みとしてエコライフDAYを実施した。	引き続き、広報紙及びホームページを活用し取り組む。
環境基本計画で定めた「市民・事業者」に求められる行動	平成30年度における状況	環境課ヒアリング・評価
1-7 【市民に求められる行動】 ●一人ひとりが省エネに努めるとともに、再生可能エネルギーについての理解や知識を深め、再生可能エネルギー機器導入への意識啓発を図りましょう。 ●地球温暖化対策の推進につながる環境保全団体の活動に参加しましょう。 【事業者に求められる行動】 ●事業所における室温の管理を徹底し、クールビズやウォームビズに努めましょう。 ●ISO14001やエコアクション21などの環境マネジメントシステムを取得するなど、自主的な取組を行いましょう。	7月に市民(子どもから大人)を対象に第1回環境学習会を開催し、東京都水の科学館、日本科学未来館を見学した。水の不思議とその大切さを理解し、日本科学未来館では過去、現在、未来のテクノロジーの変遷と温暖化について理解を深めた。 また、11月には市内在住の小学生と保護者を対象にした第2回環境学習会「親子エコスクール」を開催。ペットボトルや空き缶などのリサイクルに関する学習、体験ゲーム等を通じて、自然環境を守るため、自分たちでできることについて、学ぶ機会を設けた。	平成30年度は例年7月に行われている第1回環境学習会に加え、11月にも市内在住の小学生と保護者を対象にした第2回環境学習会「親子エコスクール」を開催し、合計42名(第1回26名、第2回16名)の参加があり、幅広い世代の市民に環境について考えるきっかけ作りを提供することができた。 クールビズ、ウォームビズに関する取組は、定着しつつあると考えられるが、エコアクション21、環境マネジメントシステムといった、聞き馴染みの薄い取組に関する周知啓発が必要と考えられる。

プロジェクトを推進するための数値目標										
担当課	項目	基準	H26	H27	H28	H29	H30	R元年(H31)	R2(H32)	目標
		H22								R2(H32)
環境課	住宅用太陽光発電システム設置助成による年間発電量(累計) (上段:修正前 下段:修正後)	86,000kWh	12,240,000(kWh)	211,900(kWh)	135,900(kWh)	127,500(kWh)	3,306,900(kWh)	—	—	36,206,000kWh
		1,631,500kWh	2,699,600(kWh)	2,900,300(kWh)	3,036,400(kWh)	3,157,200(kWh)				3,606,300kWh
環境課	緑のカーテン設置助成累計件数	0件	93件	134件	175件	255件	355件	—	—	200件
環境課	公共施設への太陽光発電システム設置基数	2基	2基	3基	4基	4基	5基	—	—	4基
安心安全課	防犯灯のLED化率(LED化防犯灯／市内防犯灯総数)	2%	9%	13%	18%	23%	25%	—	—	24%
環境課	市民1人1日当たりのごみ排出量	801g/人・日(H20)	792g/人・日	773g/人・日	787g/人・日	779g/人・日	790g/人・日	—	—	744g/人・日
環境課	リサイクル率(蓮田市を含む)	28.0%(H20)	27.7%	26.90%	26.40%	26.20%	25.50%	—	—	31.8%
環境課	資源回収団体の登録数	13団体	13団体	12団体	11団体	10団体	11団体	—	—	20団体
環境課	埋立処分量(蓮田市を含む)	476t(H20)	915t	877t	871t	864t	868t	—	—	617t

平成30年度低炭素社会の構築(総括)
◇低炭素社会構築プロジェクト 低炭素社会に向けた取組として、市は省エネルギーの観点から取り組んでいる。 緑のカーテンは例年行っている事業であるが、徐々に市民に浸透している。なお、平成30年度は80件から100件にしたところ、当日中に配布が終了するほど盛況であった。 また、創エネ・省エネ促進事業(太陽光発電システム等の購入に対する設置助成金交付制度)の利用は、太陽光発電システム28件、LED照明14件、太陽熱利用システム1件、定置用リチウムイオン蓄電池18件、雨水貯留施設1件の申請があった。 創エネ・省エネ機器の設置による低炭素社会の構築を継続すると共に、身近な所で創エネ・省エネを心掛ける土壌作りをする必要がある。